

2026年3月31日

2025（令和7）年度 地域おこし協力隊実績報告書

余市町地域おこし協力隊員 嶋田 俊

1. 受入企業（有限会社丸キ阿部商店）における実務および販路開拓

受入企業において、余市町の特産品である「余市からすみ 北琥珀」を中心とした商品企画・販売・管理に従事し、町外および富裕層市場への認知度向上を図りました。

- 「Asteeda Executive Salon 2025」への出展・PR活動 エスコンフィールドで開催されたビジネスエグゼクティブ向けイベントにて、サイドイベントとして試食会を企画・実施しました。
 - **実施内容**： 2025年6月19日・20日の2日間、ブースにて「北琥珀」の試食提供および商談を実施。
 - **実績**： 当初想定（300名）を大幅に上回る、用意した**1,000サンプルすべてを配布完了**。また、経営者層を中心に**約300名との名刺交換**を行い、新たな販路のネットワークを構築しました。
- **活動の振り返りと今後の課題**
 - **成果**： 高価格帯商品としてのターゲット層（富裕層・経営者層）に対し、直接的なアピールと高い関心を得ることができました。
 - **課題**： 単一の専門的商品（からすみ）だけでなく、より幅広い層にリーチできる関連商品のラインナップ拡充や、ブース立ち寄りから成約へ繋げるための導線設計をさらに強化する必要性を認識しました。

2. 国際交流および自治体間連携の推進サポート

余市町の国際的なプレゼンス向上と、将来的な経済・文化交流の土台作りを支援しました。

- **在ジョージア日本国特命全権大使の余市町訪問支援** 石塚英樹大使の来町に際し、連絡調整およびアテンド業務を遂行しました。ジョージアと余市町に共通する「ワイン」を軸とした産業交流の可能性を模索し、大使館との継続的なパイプ構築に寄与しました。

3. 台湾市場における地域プロモーションの展開

余市町のインバウンド誘致および特産品輸出の可能性を広げるべく、台湾での発信活動に従事しました。

- 「Meet Pacific Hualian」での**講演支援** 台湾で開催された国際イベントにて、齊藤町長とともに登壇。余市町の魅力を台湾の行政・ビジネス関係者へ向けて直接

プレゼンテーションし、自治体間の友好関係強化と、将来的な観光・教育旅行（スタディツアー）の受け入れ態勢構築に向けた基盤作りを行いました。

4. 教育現場における地域貢献と次世代育成

自身のグローバルな経験を地域の次世代へ還元するため、町内教育機関での活動を行いました。

- **余市紅志高校での特別授業（2025年7月3日）：**
- 「国際」をテーマに、台湾での留学・起業経験や東南アジアでのコンサルタント経験を基にした講話を実施。
 - **内容：**クイズを交えて「余市町と海外の繋がり」を解説し、経済的な国際化の重要性を提示。
 - **メッセージ：**「人との繋がり大切さ」を説き、生徒の国際的な視野を広げるとともに、地域への誇りを再認識する機会を創出しました。
 - **その他活動：**実際に余市紅志高校と台湾嘉義にある東石高中とオンライン1交流を開催しました。

5. まとめと次年度への抱負

本年度は、特産品の販路開拓といった「外への発信」と、海外と地域の連携に注力した一年でした。

次年度は、これまでに構築したジョージアや台湾との国際的なネットワークを、具体的な町の経済活性化（輸出や台湾での展示会への参加）に繋げるとともに、地域住民の皆様がその成果を実感できるような活動を展開してまいります。

参考資料：

台湾メディア対応記事：

<https://www.shoppingdesign.com.tw/topic/view/52/post/12604?>

Meet Pacific Taiwan：

<https://meethualien.tw/2025>

秋保隊員レポート：

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/kurashi/kouhou/2025/files/09/2509-08.pdf>



上2枚の写真は台湾花蓮での斎藤町長と共に地方創生について講演させてもらった際の写真

下2枚は駐ジョージア特命全権大使の訪余市アテンド

以上